

高等学校 芸術科(音楽) シラバス

2年間のねらい、学習目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技術を身に付けるようにする。

(2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。

(3) 主体的・協動的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

[高等学校学習指導要領（平成30年告示）より]

第1・2学年 (芸術選択) 音楽Ⅰ (2単位)	教科書	「ON!」(音楽之友社 704)
	副教材	五線ノート・タブレットパソコン・※アルトリコーダー他

※アルトリコーダーは新型コロナウイルス感染状況等によって使用出来ない場合があります。

学習到達目標

表現(歌唱、器楽、創作)及び、鑑賞の各活動を通して、音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えることを育成する。

音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解することを育成する。

学習方法

歌唱においては、斉唱～混声四部合唱までの歌唱曲に取り組む。器楽においては、各種管弦打楽器、邦楽器、鍵盤楽器等を用いて演奏や合奏を体験する。創作においては、旋律の創作と伴奏づけ、歌詞付けや編曲等をおこない、楽譜として仕上げるだけでなく実際に音に表現する。鑑賞では、DVDやCD、教師や生徒各々の実演等を通して音楽の美しさを理解する。いずれにおいても世の中の多様な流れに伴い、コンピュータ機器やICT環境を必要に応じて適時使用しながら学習に取り組む。

評価の観点

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ力・人間性等
評価 規 準	各項目における楽曲等の、歴史的社会的背景やその解釈を交えた適確な知識を基にした歌唱や演奏技能が十分に備わっているかを評価の基準とする。	各項目における楽曲等の、歴史的社会的背景やその解釈を交えた適確な思考力、それに伴う演奏技法を用いた判断力、楽曲演奏にあたっての自己の表現力を評価の基準とする。	主体的及び積極的に授業に参加し、音楽演奏における集団行動の重要性を認識し、他の生徒たちとも協動的に音楽制作が出来ているかを評価の基準とする。

年間シラバス 2年間の学習予定表(本校では「音楽Ⅰ」を2年間に分けて実施。)

※新型コロナウイルス感染状況等により内容については大幅な変更を行う場合があります。

高校1年(週1時間)

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点
1 学 期	1. 歌唱	1. ポピュラー曲の取り組み。 身近なポピュラー曲、ミュージカル等から曲を選び、楽しく美しく歌唱する。 [使用教材] ・「翼をください」(村井邦彦)	【評価の観点】 ・音楽に対する思考力、判断力、表現力。 ・音楽やそれを取り巻く背景等の知識。

	2. 器楽 3. 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・「A Whole New World」(メンケン) ・「民衆の歌」(シェーンベルク) 他 <p>2. イタリア歌曲の取り組み。 声楽導入曲を通して、文化的・歴史的背景などの知識を得るとともに、曲種に応じた発声を生かして美しく歌う。</p> <p>[使用教材]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「O sole mio」(ディ・カープア) ・「Caro mio ben」(ジョルダナーニ) ・「Ombra mai fu」(ヘンデル) 他 <p>1. 管弦楽器等による独奏曲～二重奏曲に取り組む。</p> <p>[使用教材]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「喜びの歌」(ベートーヴェン) ・「もろびとこぞりて」(ヘンデル) ・「トリスタンの嘆き」(作者不詳) 他 <p>1. 鑑賞を通して、音楽の知識や美しさを理解させる。</p> <p>[使用教材]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オラトリオ「メサイア」(ヘンデル) ・ブランデンブルク協奏曲 (バッハ) ・オペラ「椿姫」(プッチーニ) 他 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱器楽の基本的な技能。 <p>【評価方法】</p> <p>1. 実技 歌唱においては、曲種に応じた発声や美しい言葉の表現等、曲にふさわしい表現を身につけているか。 器楽においては、ふさわしい音色や基本的な奏法を考えて表現をする技能を身につけているか。</p> <p>2. 授業の取り組み 集団行動に参加し、主体的・協動的に自己の表現ができているか。</p> <p>3. ノート プリント教材の整理、学習ノートが作成できているか。</p>
2 学 期	1. 器楽 2. 創作	<p>1. ギターを弾こう ギターの基本的な技能を習得し、独奏曲～重奏曲に取り組む。</p> <p>[使用教材]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「喜びの歌」(ベートーヴェン) ・「Edelweiss」(ロジャーズ) ・「前前前世」(前田洋次郎) 他 <p>1. 音階を選んで旋律を創作し、コード付けをおこない、楽譜として仕上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二部形式の楽曲の制作。 ・モチーフ、フレーズ、メロディーの理解。 ・主要三和音の理解とその配置。 ・楽器またはコンピューター機器等を用いて創作曲を音に表現させる。 	
3 学 期	1. 日本の伝統音楽	<p>1. わたしたちの和楽器。 箏・三味線・篠笛、太鼓・歌い等の基礎的な技能を習得し、我が国の民謡、各地の伝統芸能に親しむ。</p> <p>[使用教材]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「さくら」(作曲者不詳) ・「南部牛追歌」(岩手県民謡) ・「木曾節」(長野県民謡) ・「谷茶前」(沖縄県民謡) ・箏曲「新ざらし」(中能島欣一) ・長唄「京鹿子娘道成寺」(3世杵屋正次郎) ・「双魚譜」(吉松隆) 他 	

高校2年 (週1時間)

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点
----	---------	--------------	-------

